

南知多町 片名地区 振興基本計画

発行・編集 ● 南知多町企画課（電話：0569-65-0711）
発行日 ● 平成25年3月



片名地区の将来像
赤ちゃんからお年寄りまで
安心して住み続けたいまち

計画の趣旨 この計画は、地区の皆様とともに、法規制や財政の制約にとらわれず地域の夢をのせた将来像を描いたものです。ひとつでも多くの事業が実現できるように地域と行政が力を合わせて取り組んでまいります。

策定経過 地区住民会議を3回開催しました。第1回 平成24年11月2日『地域の課題を考えよう』
第2回 平成24年12月8日『地域の振興計画を考えよう』
第3回 平成25年1月19日『地域の振興計画案の仕上げ』

片名地区の概況

① 地区の概況

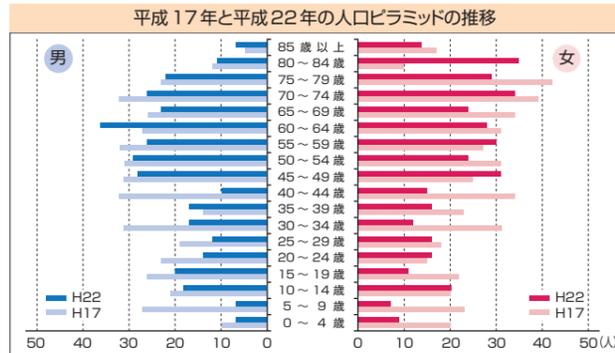
- ・片名地区は、伊勢湾、三河湾で獲れる魚介類が集まる片名市場がある港まちです。
- ・地区内にはグルメ・ショッピング等のアミューズメント施設が充実しているチッタ・ナポリも立地しています。
- ・地区には昔から伝わる漁師料理「崎っぼ料理」が残っています。



人口・世帯の状況（平成22年国勢調査）				出生数の推移					
総人口	701人	0～14歳	68人	高齢化率	32.1%				
男性	330人	15～64歳	408人	世帯数	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度
女性	371人	65歳以上	225人	平均世帯人員	3人	6人	4人	2人	2人

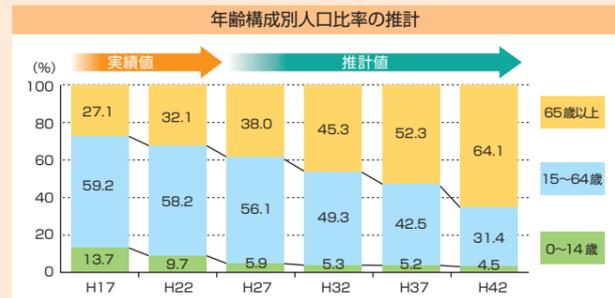
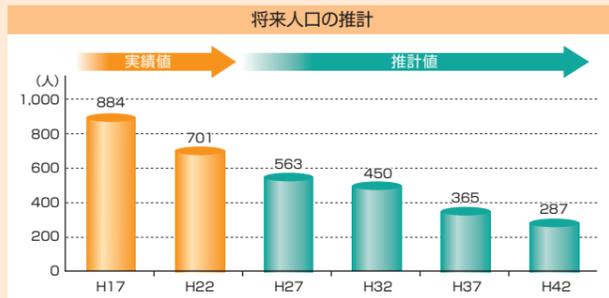
② 地区の人口

- ・地区の人口は1,290人、世帯数は436世帯で、町全体の人口の6.3%を占めています。
- ・年齢別にみると、「0～14歳」が143人、「15～64歳」が779人、「65歳以上」が368人で、65歳以上高齢化率は28.5%となっており、町全体の高齢化率29.6%よりも低くなっています。
- ・人口ピラミッドをみると、男性では「60～64歳」、女性では「55～59歳」が多くなっており、年々少子高齢化が進行しています。
（※片名地区の人口、世帯数等には住民基本台帳による新師崎の人口、世帯数は含まれていません。）



将来人口の推計

- ・地区の将来人口を推計すると、年々人口は減少し、平成32年には450人、平成42年には287人となることが推計されています。
- ・65歳以上高齢化率も平成32年には45.3%、平成42年には64.1%になることが推計されています。



片名地区の主要課題

課題① 災害に強いまちづくり

大雨等による河川の増水や浸水被害が深刻な地域もみられることから、水害対策が課題となっています。海岸沿いに住宅が立地する地区もあり、津波による危険性もあることから、安心して避難できる避難路や津波一次避難場所、避難所を確保することが必要です。また、避難路や避難場所の整備などとともに、避難訓練などを通じた住民の意識啓発や地域の防災力の強化などが課題となっています。

課題② 生活環境の改善

集落内には狭い道路が多く、また国道247号をはじめ歩道がなく危険な道路もあることから、道路の拡幅等により利便性を高めるとともに、安心して通行できる道路にしていく必要があります。夜暗くて危険な道路が多いことから、防犯灯の整備などが求められます。大井小学校までは通学に不便なうえ、交通事故などの不安もあり、改善が求められています。学生の通学に係る負担が大きく、公共交通の利便性向上と負担の軽減が求められます。人口減少に歯止めをかけるために、若者の定住や週末居住などを含めた移住促進などが課題となっています。子どもが安全に遊べる場所が少ないことから、公園の整備が課題となっています。

課題③ 軸となる産業づくり

核となる施設や観光資源が乏しいことから、片名漁港や地域資源の有効活用などにより、集客の目玉となるような特産品や店舗などの新たな魅力づくりが求められます。遊休農地が増えていることから、幹線道路沿いの交通アクセスの良さを生かした新たな利活用が課題となっています。若者の定住を促すためにも、雇用の場の確保が求められます。

まちづくりの目標

目標1

安全・安心なまち

片名川の改修や排水ポンプの整備などにより、水害に強いまちづくりを進めます。また、津波一次避難場所及び避難路の整備、避難場所を兼ねた集会所の整備などにより、地震や津波などによる被害の心配がない安全・安心なまちをめざします。



目標2

都市基盤の整った
住みよいまち

子どもから高齢者まで集える集会所等の交流拠点を整備するとともに、集落内道路の拡幅や防犯灯整備、歩道等を備えた幹線道路整備、公共交通の充実や若者向けの住宅、公園整備、二地域居住の促進などを進めることで、都市基盤の整った住みよいまちをめざします。

目標3

特色ある
産業のまち

遊休農地を有効活用した貸農園などの新たな交流・集客の拠点づくり、特産品開発を通じて交流人口の拡大を図るとともに、漁業関連施設の集積を高め、特色ある産業のまちをめざします。



1 安全・安心なまち

河川

- 片名川(準用河川)の改修**
 - ・浸水被害などの水害を防止するために、片名川の改修
 - ・川の水が直線的に海に流れ出るような河川のルート改修
- 排水ポンプの整備**
 - ・水害を防止するために、片名川の水門付近に排水ポンプの整備
- 水門の管理体制の見直し**
 - ・災害時に的確に対応できるように、地元と関係機関の連携による水門管理のあり方の見直し

防災

- 津波一次避難場所及び避難路の整備**
 - ・高齢者や車いすでも安心して避難できるよう、避難路の拡幅や舗装の整備、老朽化した橋梁の架け替え、草刈り等の強化
 - ・民間マンション等にも協力を要請し、身近に避難できる新たな津波一次避難場所の整備・確保
 - ・避難しやすいよう、避難場所や避難路を示す案内板などの設置と住民への周知徹底
- 自主防災活動の強化**
 - ・避難訓練を通じた避難路の確認や避難場所の整備内容、備蓄品の検討など、自主防災活動の強化・充実
- 新たな防災拠点の整備**
 - ・師崎中学校に加えて、集落から近い場所に新たな防災拠点の整備
- 公民館及び避難所の整備 ※再掲**

2 都市基盤の整った住みよいまち

道路

- 集落内道路の整備**
 - ・住宅のセットバックや片名川の暗渠化などにより、集落内道路の拡幅とそれによる幹線道路へのアクセスの向上
 - ・安全確保を図るためのカーブミラーなどの整備
- 街路灯・防犯灯の整備**
 - ・集落内道路をはじめ、夜間も安全に通行することができるように、街路灯・防犯灯の整備
- 国道247号の歩道整備**
 - ・国道247号の新師崎から片名までの区間を中心に、堤防の再整備などに合わせた歩道の整備
- 主要地方道半田南知多公園線の整備(四車線化)**
- (都)知多東部線の整備**
- 広域農道の早期全線開通(片名地区は完成)**

交通

- スクールバスの運行**
 - ・片名から大井小学校までの遠距離通学の負担軽減と安全確保のためのスクールバスの運行
- 海っ子バスの充実**
 - ・朝晩の増便や運賃割引の拡大、無料化など、学生が利用しやすく通学費の負担が軽減されるようなサービスの見直し

住宅

- 若者向けの住宅整備**
 - ・若者の流出を防ぎ定住人口を増やすために、町営住宅などの公営住宅の整備や、増加しつつある空き家の活用
 - ・集落内道路の整備に伴う沿道の宅地開発の促進
- 週末居住や二地域居住の促進**
 - ・週末居住や二地域居住による定住・交流人口の増加を促進に向けて、リゾートマンションに周辺の遊休農地なども組み合わせて、農業やレジャーが楽しめる環境の整備

市街地整備

- 公民館及び避難所の整備**
 - ・旧保育所の跡地を活用して、子どもからお年寄りまで地区住民の憩いの場として、さらに災害時の避難所として、津波や浸水の影響のない場所に調理室等を備えた公民館の整備

公園

- 公園の整備**
 - ・公民館周辺の里山や遊休農地を活用し、小さな子どもの安全な遊び場として、小中学生のアスレチックなどの冒険遊び場として、さらに高齢者の憩いの場としても使えるような公園や駐車場を公民館と一体的に整備

3 特色ある産業のまち

観光

- 貸し農園の整備**
 - ・マンション等で週末居住や二地域居住している住民などを対象に、民間企業と連携して公園や緑地を備えた貸農園の整備
- 遊休農地の活用促進ゾーン**
 - ・半田南知多公園線沿いの交通アクセスの良い遊休農地を生かして、貸農園などの新たな交流・集客の魅力づくりにつながるような活用のあり方の検討
 - ・集会所や公園と周辺の遊休農地及び里山の一体的な活用による農業体験や子どもの遊び場として有効活用
- 特産品を使った商品開発**
 - ・観葉植物や干物などの片名の資源を活用した、観光の目玉となるような新たな特産品の開発
- 宿泊・店舗・船宿等の商業施設を中心とした整備**
 - ・にぎわいの創出に向けて、新師崎から片名にかけて立地する既存の店舗や宿泊施設等の充実

漁業

- 水産加工業や漁具庫等の漁業関連施設、倉庫等の集積**
 - ・片名漁港に集まる海産物を活用した水産加工業の整備、漁具庫や倉庫等の漁業関連施設の整備など、漁業関連施設の集積

雇用創出

- 企業誘致**
 - ・若者の雇用の場を確保し定住を促すために、遊休農地を活用した既存の事業所の移転・拡張、海産物を生かした食品メーカーなどの新たな企業誘致

